

ワークショップ2: 在宅医療における泌尿器科医の役割

在宅医療の基本的理念と現状

のじまホームクリニック

野島 洋樹*

抄録:

超高齢社会の到来によって在宅医療が拡がりをみせており、近年、在宅でも質の高い医療が受けられるようになった。在宅医療は、本人・家族の生き方を中心とした医療の形であり、精神的な安定を含めた QOL の向上などが利点ではあるが、家族負担の増大やスタッフ不足などの問題点も看過できない。今後はテクノロジーの発達などによって問題点を克服しながら、さらなる在宅医療の拡がりが望まれる。

(西日泌尿, 87: 195-196, 2025)

キーワード: 在宅医療, 訪問診療, 超高齢社会

近年、若年人口の減少を伴う超高齢社会の到来によって医療の集約化と機能分化が必要となったため、自宅や施設で訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問薬剤指導などの医療サービスを受ける在宅医療が拡がりをみせている。特にここ 10 年ほどの間で、医療技術の進歩や医療制度の改革によって、患者は病院だけでなく自宅でも質の高い医療を受けられるようになってきた。

日本在宅医療連合学会は、目指す在宅医療の基本的理念として、在宅で療養するすべての尊厳を守り、本人と家族の QOL の向上をはかること、療養者自らの生き方を尊重し、それを実現するための支援を行うこと、質の高い在宅医療の実践を通じて、人生の最終段階も含め、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献すること、生活やいのちを支えるための叡智を集約し、新しい在宅医学を創造すること、を掲げている。

在宅医療の利点としては、慣れ親しんだ環境で過ごせるため、QOL の向上、精神的安定が得られること、入院に比べて施設利用費や人件費が不要となる分、医療費が削減できること、家族の通院負担の軽減と 24 時間対応による患者・家族の不安解消、がある。

しかし、在宅医療の問題点としては、サービスの提供が非効率的であることによる全国的なスタッフ不足、主な介護や一部の医療処置などを行う患者・家族負担の増大、医療介護の連携の困難さ、都市部と地方部でのサー

ビス提供体制の地域格差、などがみられている。

それに対して今後は、リモートモニタリング技術の進展によるリアルタイムでの患者状態の把握や ICT を用いた情報共有による医療・介護連携など、テクノロジーの進化、在宅医療に係るスタッフの育成や医療機器のコストダウン、地域格差を解消するための国の施策などが期待されるところである。

実際の在宅医療の現場では、小児から高齢者まで、医療的ケア児、神経難病、末期癌、認知症など様々な病態の患者が暮らす自宅や施設に、定期訪問診療と往診で 24 時間対応しており、地域に在宅医療が浸透するにしたがって徐々に自宅での看取りが増えてきている。

泌尿器科医も、在宅で専門的な処置を行うことや緩和医療をサブスペシャリティーとすることでの自宅での看取り、患者・家族を含めた丁寧な病状の共有・連携を行うことでの円滑な在宅医療への移行など、様々な形で在宅医療に関わることが求められる。

在宅医療は、超高齢社会において重要な役割を果たしているが、現状ではさまざまな課題も存在している。これらの課題を克服し、在宅医療の質をさらに向上させるためには、医療スタッフの育成、技術の導入、制度の改革が必要であり、様々な角度から泌尿器科医師の積極的な関わりが求められる。

文 献

- 1) 厚生労働省ウェブサイト「在宅医療の体制構築に係る指針」2022. <https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000993895.pdf>

* 〒720-1131 広島県福山市駅家町万能倉 1245-4

TEL 084-970-1711, FAX 084-970-1712

E-mail info@nojima-hc.com

受付日: 2025 年 1 月 1 日

受理日: 2025 年 1 月 14 日

- 2) 厚生労働省ウェブサイト「厚生労働省老健局保健課 在宅医療・介護連携推進 事業の手引き Ver.3」2021. <https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/000666660.pdf>
- 3) 日本在宅医療連合学会：日本在宅医療連合学会が目指すビジョン. <https://www.jahcm.org/>
- 4) Yokokawa, Y. et al.: 在宅医療 治し支える医療の概念と実践. 中央法規, 東京, 2024.

BASIC PRINCIPLES AND CURRENT STATE OF HOME MEDICAL CARE

HIROKI NOJIMA

Nojima Home Clinic, Hiroshima, Japan

Abstract

With the advent of a super-aging society, home medical care has become more widespread, and we can receive high-quality medical care at home. It improves quality of life of the patient, but problems such as increased burden on families and staff shortages cannot be overlooked. I hope that home medical care will expand further while overcoming these problems through developments in technology.

(Nishinohon J. Urol. **87**: 195-196, 2025)

key words: home medical care, home visits for medical treatment, super-aging society
